

発 言 通 告 書

令和3年9月9日

松山市議会議長 若江 進 殿

松山市議会議員 小崎 愛子

次のとおり通告します。

発言順位	16	受領日時	9月9日 午前 10時 30分	2枚中 1枚目
質問等の方式	一問一答方式 ・ 一括方式		発言時間	約 30分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・農業委員会会長	・選挙管理委員会委員長 ・監査委員	・公平委員会委員長	・公営企業管理者

No.	件 名	発 言 の 要 旨
1	コロナ対策学生支援について	<p>(1)「松山市特例奨学資金貸付制度」の貸付人数と金額及び学生の実態について問う。</p> <p>また、今後、本市独自の臨時奨学金制度を創設する考えはないか。</p> <p>(2)大学と連携して学生生活の実態調査を行い、必要な支援制度を創設する考えはないか。</p> <p>また、行政が米や野菜を購入し学生に配付する支援をすべきと考えるが、所見を問う。</p> <p>(3)大学構内にも生理用品を配備すべきと考えるが、所見を問う。</p> <p>(4)新卒者就職について、企業や新卒者の就職を支援する制度についての具体的な施策を問う。</p> <p>(5)大学構内でPCR検査を受けられるようにすべきと考えるが、所見を問う。</p>
2	コロナ禍での女性支援について	<p>(1)「女性のための相談強化等事業」業務委託の事業者はどこに決定し、いつから実施するのか。</p> <p>また、相談体制や問題解決のための専門家との連携について問う。</p> <p>(2)本市の独自予算で「女性のための相談強化等事業」を継続すべきと考えるが、所見を問う。</p> <p>(3)これまでの生理用品の配付状況と受け取った人の感想を問う。</p> <p>(4)本市の小・中学校での生理用品の配付状況はどうなっているか。</p> <p>また、女子トイレへ設置すべきと考えるが、所見を問う。</p>

